

[部会の主な意見]

- 1 会議の開催回数を指標としている施策がいくつかあるが、例年開催している会議の開催回数を指標としても、改善点がわからなくなってしまう。今後別の指標を考える必要がある。
- 2 件数を指標としているものと、割合を指標をしているものがあり、それぞれどのような意義があるのか整理する必要がある。
- 3 同じ救急告示病院でも救急車受け入れ台数に大きな差があり、これをある程度標準化するよう働きかけていく必要がある。
- 4 初期救急の患者が救命救急センターを受診することが多数あり、救急医療のひっ迫を招いている。都市部だけでも初期救急を担う医療機関が必要である。

取組と指標の整合性 (セオリー評価)

- ・中間評価に向けて引き続き整理を行う。
- ・件数、割合等どのような指標が適切か引き続き議論が必要。

取組の実施状況 (プロセス評価)

- ・概ね適切に実施されているが、救急告示病院数等は指標は改善していても質の面で課題が残る。
- ・会議の開催回数を指標にしているものについては今後別の指標とするのか検討が必要である。

指標の進捗状況 (インパクト評価)

- ・21指標のうち、14指標(66.6%)が改善した。
- ・個別施策に対して中間アウトカム、分野アウトカムの結果は概ね改善の成果を出している。

今後の取組方針 (総合評価)

- ・現在の取り組みを継続しながら、新しい指標についても他分野との整合を取りながら今後の中間見直しに向けて検討していく。